

葬儀を考える

葬儀までの基礎知識

■ 葬儀社は選択できる

病院で亡くなると、故人を自宅または会館等に搬送するのは、病院が行うのではなく、葬儀社です。自ら手続きしないと、病院が手配した葬儀社が搬送することになります。一度、葬儀社を利用してしまうと、途中で切り替えにくくなり、そのまま葬儀もお願いすることになってしまいます。あらかじめ、葬儀社を決めておくこと、見積書は必ずもらうことが肝要です。

*トラブル回避のため、必ず見積書を取り寄せて、内容確認を行いましょ。

■ 葬式の費用 (一財 日本消費協会アンケート2017年・平均額)

・葬儀一式費用	121.4万円	
・飲食接待費	30.6万円	
・寺院へのお布施	47.3万円	合計199.3万円

* 一般葬のほか、家族葬などもあるので、あくまで参考としてください。

家族葬は、葬儀にかかる費用は割安ですが、その後弔問対応など考えられます。

■ 葬儀の流れを覚えておこう (仏式の場合)

1. ご臨終

ただちに葬儀社に連絡 (①亡くなられた方の氏名、②連絡者の氏名・関係・電話番号、③故人がいる場所)

病院で亡くなられた場合：親族・近親者などに連絡する。死亡診断書を受け取る。

自宅で亡くなられた場合：医師・警察を呼び状況確認をしてもらい、死亡診断書を取りに行く。親族・近親者などに連絡する。

2. 迎え・搬送：葬儀社の担当者が指定した場所にお迎えにあがる。

3. 遺体の安置

4. 通夜・葬儀・告別式の打合せ・諸手続きの代行

日時：宗教者、関係者、火葬場のスケジュールを配慮し決定

喪主：故人に一番近い方、後継者が一般的

葬儀形式、規模、式場の決定。見積もり。関係者への通夜・告別式の連絡。

遺影写真の決定。

役所など手続き代行：火葬許可証の交付、市民葬の手続き

5. 各種手配：式場、火葬場、霊柩車、送迎バス、生花、花輪、料理、返礼品など

6. 納棺